

## 平成23事業年度期末監事監査結果

### 1. 監査の種類

平成23事業年度監事監査計画に基づき期末監事監査（定期監査）を実施した。

### 2. 監査実施日

平成23年

12月22日 むつ研究所（実地監査）

平成24年

1月12日 総務部 人事課

1月13日 安全・環境管理室

1月17日 事業推進部 国際課  
総務部 施設課

1月18日 研究支援部 支援第1課・支援第2課

1月23日 総務部 法務・コンプライアンス室  
総務部 総務課

1月24日 経営企画室 技術企画室

1月27日 事業推進部 推進課

1月31日 高知コア研究所（実地監査）

2月1日 総務部 職員サポート課

2月3日 事業推進部 図書館課  
事業推進部 広報課

2月6日 海洋工学センター 運航管理部

2月7日 海洋工学センター 海洋技術開発部  
海洋工学センター 企画調整グループ

2月8日 経営企画室 企画室  
経営企画室 報道室

2月10日 地球情報研究センター 国際海洋環境情報センター（実地監査）

2月13日 総務部 東京事務所

2月14日 総務部 横浜管理施設課  
地震津波・防災研究プロジェクト 研究企画グループ  
地球シミュレータセンター 情報システム部 システム企画グループ

2月15日 経理部 経理課・財務課・契約第1課・契約第2課

2月17日 地球情報研究センター データ技術開発運用部 データ情報化技術グループ  
地球深部探査センター 企画調整室

2月20日 海底資源研究プロジェクト 調査研究企画調整グループ

### 3. 監査対象部門及び立会者職位

- (1)地震津波・防災研究プロジェクト 研究企画グループ  
グループリーダー1名、サブリーダー、事務副主任
- (2)海底資源研究プロジェクト 調査研究企画調整グループ  
プロジェクトリーダー、サブリーダー
- (3)むつ研究所  
所長、管理課長、課長代理
- (4)高知コア研究所  
所長、管理課長、事務主任
- (5)研究支援部 支援第1課・支援第2課  
部長、課長2名、課長代理3名、事務主査
- (6)海洋工学センター 企画調整グループ  
企画調整担当役、グループリーダー
- (7)海洋工学センター 海洋技術開発部  
部長、グループリーダー4名
- (8)海洋工学センター 運航管理部  
部長、グループリーダー4名
- (9)地球シミュレータセンター 情報システム部 システム企画グループ、基盤システムグループ  
グループリーダー2名、サブリーダー、技術副主任
- (10)地球情報研究センター データ技術開発運用部 データ情報化技術グループ、データ管理  
技術グループ  
部長、グループリーダー2名、サブリーダー
- (11)地球情報研究センター 国際海洋環境情報センター 管理課、研究情報公開グループ  
管理課長、サブリーダー、技術副主任
- (12)地球深部探査センター 企画調整室  
室長、技術主任、事務主任、事務副主任2名、事務主事
- (13)事業推進部 推進課  
課長、課長代理、事務副主席、事務主任、事務主査
- (14)事業推進部 国際課  
課長、事務主任、事務主査、事務主事
- (15)事業推進部 広報課  
課長、事務主任
- (16)事業推進部 図書館課  
課長、事務副主任
- (17)経営企画室 企画課  
課長
- (18)経営企画室 技術企画室  
室長
- (19)経営企画室 報道室  
室長
- (20)総務部 総務課  
課長、課長代理

- (21) 総務部 人事課  
課長、調査役
- (22) 総務部 施設課  
課長、事務副主任
- (23) 総務部 職員サポート課  
課長、事務副主任
- (24) 総務部 横浜管理施設課  
課長、技術副主任、事務主任2名
- (25) 総務部 東京事務所  
所長
- (26) 総務部 法務・コンプライアンス室  
室長、事務主任
- (27) 経理部 経理課、財務課、契約第1課、契約第2課  
部長、次長、課長4名、調査役、課長代理4名
- (28) 安全・環境管理室  
室長、調査役、技術主任

#### 4. 監査対象

- (1) 関係諸法令及び規程、規則、細則の実施状況
- (2) 重要施策の実施状況
- (3) 組織及び制度全般の運営状況
- (4) 人事管理の状況
- (5) 経営合理化及び業務能率の状況
- (6) 事業計画、予算及び資金計画の実施状況
- (7) 経理及び契約の執行状況
- (8) 現金等の出納及び保管の状況
- (9) 資金の需要及び管理の状況
- (10) 資産の取得、管理及び処分の状況
- (11) 安全管理の状況
- (12) 内部統制の状況
- (13) 情報開示の状況
- (14) 業務効率改善の状況
- (15) 社会貢献の実績
- (16) その他監査の目的を達成するために必要な事項

#### 5. 監査重点項目

- (1) 職場環境  
各種のハラスメント、過重労働やメンタルヘルスなどについて、業務体制及び業務分掌等の資料に基づき、概念の理解度とリスク低減体制等がとられているかどうかについて確認した。
- (2) 検収体制  
不正経理の温床となる形式的検収が行われていない事を確認した。

6. 是正等措置を要する事項

是正及び改善すべき等の措置を要する事項は特にない。

7. 監事の補足的意見

横浜研究所に検収センターが設置され、検収体制の充実が図られた。預け金等の不正経理に対するリスク低減のため、横須賀本部と横浜研究所の検収センターで扱う検収対象を拡大すべきである。

以上。